

令和2年度 ヒロメ養殖試験報告書

2021年5月
尾鷲市水産農林課

【尾鷲市内ヒロメ養殖結果】

	沖出し時期	種糸(m)	平均効率(kg/m)	生産量(kg)
大曾根	12/3	150 m	2.3 kg/m	345 kg
	12/10	150 m	1.9 kg/m	284 kg
	12/15	150 m	1.7 kg/m	255 kg
古里	12/4	50 m	1.2 kg/m	36 kg (30m分)
行野	12/15	40 m	0 kg/m	0 kg
曾根	12/9	50 m	0 kg/m	0 kg
	12/18	50 m	0 kg/m	0 kg



【大曾根地区収支計算】

・養殖準備等

事前準備 作業時間 360分

12/3、12/10 早期種糸巻き付け、ロープ設置 作業時間 720分

12/15 通常種糸巻き付け、ロープ設置 作業時間 550分

12/25、1/13 確認、錨打ち直し 作業時間 140分

5/14 ロープ回収 作業時間 750分

・収穫・出荷作業

2/2、2/3、2/10、2/17、2/18、2/22、3/24 作業時間 3,200分

出荷量 884kg、売上高 609,482円、平均単価 689.5円/kg

(R1実績 出荷量 793kg、売上高 634,007円、平均単価 799.5円/kg)

総作業時間 108.3 時間=養殖準備等 42.0 時間

+収穫・出荷 66.3 時間

種糸代 300 m×165 円/m+150 m×105 円/m=65,250 円

利益 出荷 609,482 円-種糸代 65,250 円=544,232 円

時給 利益 544,232 円÷108.3 時間=5025.2 円/時間

【古里地区収支計算】

・養殖準備等

12/4 早期種糸巻き付け、ロープ設置 作業時間 360 分

2/16 ロープ掃除 作業時間 120 分

・収穫、出荷作業

2/16 収穫、出荷 作業時間 240 分

出荷量 36kg、売上高 26,208 円、平均単価 728.0 円/kg

総作業時間 12.0 時間=養殖準備等 8.0 時間

+収穫・出荷 4.0 時間

種糸代 30 m×165 円/m=4,950 円

利益 出荷 26,208 円-種糸代 4,950 円=21,258 円

時給 利益 21,258 円÷12.0 時間=1771.5 円/時間

【漁場水温】

養殖ロープに設置した水温ロガーにて漁場水温を測定

測定期間 大曾根 12/3～ 曾根 12/9～

・測定期間を通して曾根が大曾根より水温が高い傾向にあった（図 1, 2 参照）。

・12月の平均水温 大曾根 19.8℃ 曾根 21.2℃

・12月中に日平均水温が 22℃以上となった日 大曾根 0 日 曾根 4 日

21℃以上となった日 大曾根 0 日 曾根 11 日

20℃以上となった日 大曾根 10 日 曾根 21 日

19℃以上となった日 大曾根 29 日 曾根 23 日

→大曾根と曾根でヒロメ生育状況に差があった理由の 1 つとして、曾根では養殖初期の水温が 21℃以上と高温になったことが推察される。しかし、曾根においても 1 月中旬までヒロメが生育・生長し、2/16 までに消失した。ヒロメが消失した時期の水温は 17～18℃であった。これからのことから、養殖初期の水温だけでなく魚類の食害、栄養塩等の環境要因が複合的に影響したと考えられる。

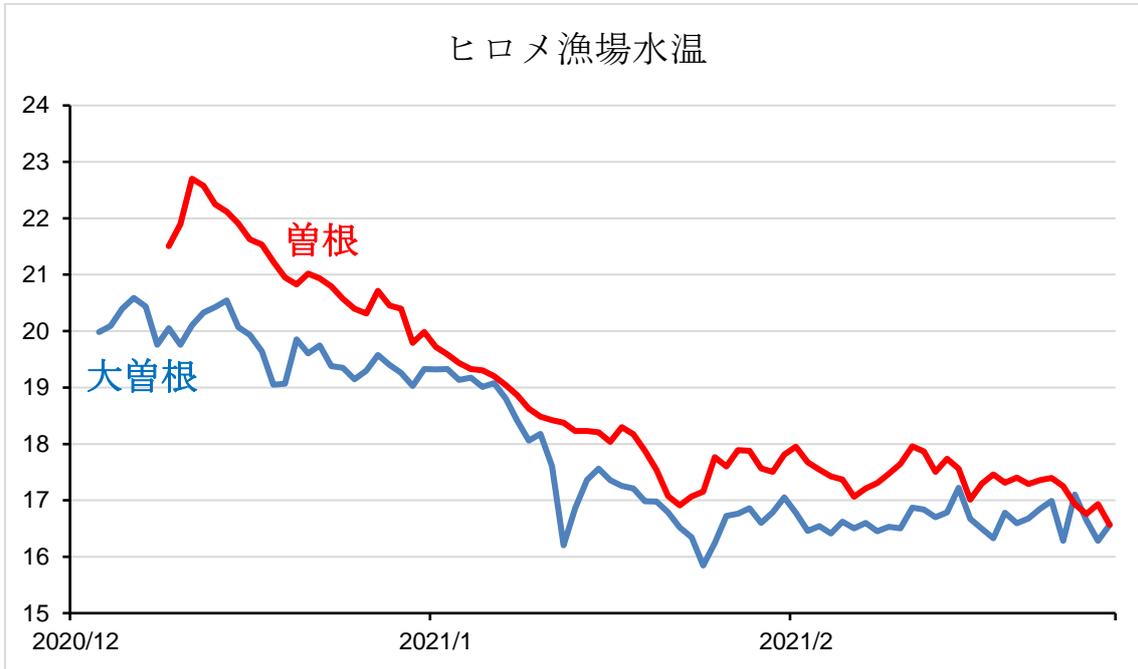


図 1 ヒロメ漁場の日平均水温

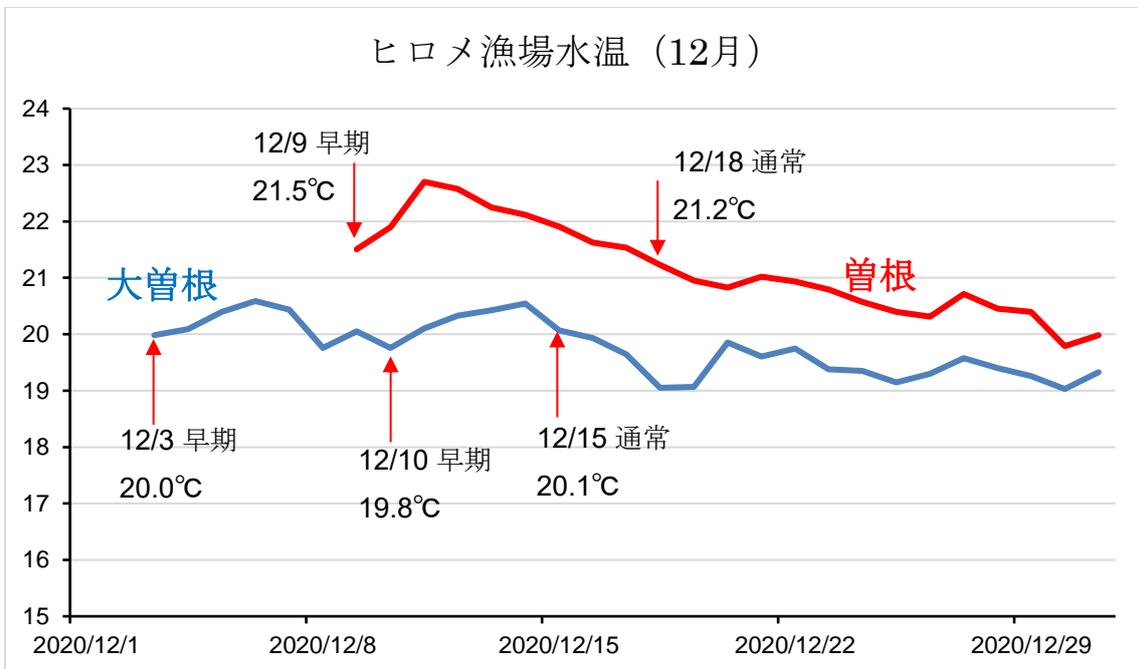


図 2 ヒロメ漁場の日平均水温 (12月). 図内の日付及び水温は各種糸の養殖開始日と日平均水温.